

【令和8年第3回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

9月9日測定の結果、主灰が38ベクレル、飛灰が390ベクレルでした。

なお、飛灰については、5月に約216トン、6月に約100トン、7月に約102トン、8月に約90トン、合計約510トンの処分を計画どおり終了しております。

○有害鳥獣焼却施設で発生する排出灰について

焼却炉等改修工事により、直近の測定は6月10日に測定したものであり、測定の結果、主灰が250ベクレル、飛灰が10,000ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

9月9日測定の結果、95ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

定期的な保守点検作業と計画的な整備のために、焼却炉等改修工事を7月17日から実施しております。

本年4月からの処理状況については、9月16日現在で、118頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○一里壇斎苑について

8月11日に、台風15号接近に伴う強風による倒木で、12時頃から40分程度停電いたしましたが、午後1時前に復旧し、午後からの火葬につきましては、通常どおり執り行うことができました。

○衛生センター、光陽クリーンセンター、松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施する等、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○受診状況について

本年４月から８月までの入院患者は、延べ１６，３８８人で、前年同期と比較して６５８人、率にして４．２％の増加となっております。外来患者は、延べ３９，５１３人で、前年同期と比較して、１，６７７人、率にして４．４％の増加となっております。

主に整形外科の受診者が増加しており、入院患者、外来患者ともに前年を上回って推移しております。

○病院経営の状況と経営改善の取り組みについて

公立相馬総合病院を取り巻く経営環境は、物価高騰や、人件費上昇等により、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、本年４月より NPO 法人病院経営支援機構の支援を受け、各種取り組みを進めております。

まず財政状況や、患者数、病床稼働率等の運営状況を把握するとともに、職員へのヒアリングを通じて課題の整理を進めました。こうした課題を踏まえ、地域医療連携の推進、病床稼働率の向上、診療報酬算定の強化、費用削減等の改善策に取り組んでおります。具体的には、診療報酬について、施設基準や加算の届出、算定状況を改めて点検し、これまで算定できていなかった急性期看護補助体制加算の算定を開始するとともに、医師事務作業補助体制加算についても、院内の体制を整備し、届出につなげました。さらに、診療報酬の返戻、査定への対応や、未収金の適切な把握、回収に取り組み、収益の増加を図ると共に、医薬品や診療材料、委託契約等の見直しを進め、費用の削減につなげて参りたいと考えております。今後はこれらの取り組みを着実に実行し、経営改善につなげて参りたいと考えております。